

# 伝統的食文化の継承と発展・向上を担って60年。

## 昭和

15. 1.11 全国味噌工業組合連合会設立  
 18.10.15 国家総動員法による統制会社令施行  
 19. 3.13 新統制会社令により全国味噌統制株式会社設立  
 20. 3.15 全味統本社、戦火により罹災。地統（各都道府県味噌統制株式会社）の罹災26社、製造工場罹災464社  
 21. 9.16 統制会社令の全味統解、商法による全味統再度設立  
 23. 2.21 食料品配給公団味噌局業務開始  
 23. 2.21 味噌工業協会設立、横山鹿次氏理事長就任  
**23. 7.25 全味弘報創刊**  
 23. 7.25 (社)中央味噌研究所設立  
 24. 6. 3 味噌工業会館落成（神田練塀町）  
 25. 3.13 食料品配給公団廃止  
 25. 3.22 全味統閉鎖機関指定により解散  
 25. 5.29 全国味噌工業協会と改称、会長に先代飯田又右衛門氏、理事長に広崎広吉氏就任  
 26. 4.16 全国味噌工業協会、中央区越前堀に移転  
 29. 6.20 食糧研究所第1回醸造食品（味噌醤油）講習会開催（期間48日）  
 30. 5.11 第1回全国味噌鑑評会（於食糧研究所）  
 30.10. 5 味噌標語募集「手軽な味噌汁、豊かな栄養」その他入賞  
 33.11.24 全国味噌会館落成（現在地）  
 33.11.24 「味噌沿革史」刊行  
 34. 1 PR用総天然色映画「味噌と生活」完成  
 35.11.17 全国味噌工業協同組合連合会設立  
 35.11.17 初代会長に田中徳兵衛氏就任  
**36. 1. 1 みそ通信、第1号発刊**  
**36. 9.10 味噌PR用キッチンカー運営開始（日米大豆調査会寄贈）**  
 37. 2.10 全国味噌火災共済協同組合設立、4月2日業務開始  
 38. 2.15 LT大豆第1次議定書調印式  
 38. 9.25 業種別振興法、第1次近代化現地調査開始  
 39. 5.29 第1次味噌製造業近代化基本計画案  
**39. 7.15 長崎聖フランシスコ病院、秋月辰一郎先生著「わかめの味噌汁と体質改善」全味版発行（45万部）**  
 40. 6.20 TBSテレビ「女と味噌汁」初放映、主演：池内淳子  
 40. 7.20 2代目会長に黒沢六助氏就任  
 40. 8.26 味噌製造業近代化基本計画告示  
 41. 2.20 コロムビア・ローズ「おみおつけの唄」レコード発売  
 42. 1.15 TBSテレビ「女と味噌汁」第6回放映と単行本出版  
 42. 5.12 3代目会長に河原信三氏就任  
 43. 2.14 映画「女と味噌汁」東宝系封切（全味工連協賛）  
 44. 5.21 4代目会長に藤森伝衛氏就任  
 45. 8.17 第2次味噌製造業近代化基本計画告示  
 45.11.12 政令第329号味噌製造業構造改善計画（企業集約型）全体計画及び昭和45年度計画承認  
 46. 9.30 中小企業近代化資金等助成法による中小企業構造改善等準備金（転廃業見舞金）計画承認  
 47. 5.25 「みその本」（川村涉・辰巳浜子共著）発行  
 47. 7. 4 「死の同心円」（秋月辰一郎著）発行  
 48.11.25 「みそ汁風土記」（川村涉著）発行  
 49. 5.10 「みそ汁百科」（川村涉・多田和枝共著）発行  
 49. 7. 8 味噌品質表示基準公布（農林省告示第607号）  
 50. 4 味噌の製造及び流通基準作成（食糧庁）  
 51. 5.20 5代目会長に飯田又右衛門氏就任  
 52. 4. 1 第3次知識集約化構造改善計画（昭和52年度～56年度）承認  
 53.11.18 ベルマーク運動に味噌業界団体名で参加決定  
 55. 4. 2 味噌製造業構造改善計画改訂五カ年計画承認（知識集約型から総合型構造改善に変更）

## 56. 6

- NHKテレビの減塩キャンペーン（長野）、減塩音頭（秋田）による味噌汁摂取問題で抗議  
**56. 9.27 がんセンターの平山博士が、がん学界で「味噌汁の効用」を発表**  
**56.10.15 「みそ汁礼賛」（楠本憲吉著）発行**  
**57. 3. 8 「30日はみその日」のキャッチフレーズ決定**  
**58. 3.25 野村総合研究所委託の「味噌業界の将来展望」（フェイズI及びII）調査報告書完成**  
**58. 4 中小企業事業団による「みその需要動向調査」完成**  
**58. 9 国立島根医大・家森教授「味噌の塩分問題」学会で発表**  
**58. 9.28 全味工連・塩分表示指導方針決定**  
**59. 3.31 東北大木村修一教授らが「ミソはがんに強い」を実証し発表**  
**61. 7 チェルノブイリ原発事故後、欧州向け味噌輸出増大**  
**62. 5.24 6代目会長に福山卓爾氏就任**  
**62. 5.26 「みその栄養成分表示基準」統一マークで決定**  
**63. 3.16 ベルマーク1億円突破で表彰状受賞**  
**63. 6.27 国立島根医大・家森教授グループは「摂取食塩量が同じでも栄養豊富なら脳卒中を減らせる」と学会報告**

## 平成

- 元. 5.18 全味工連「即席みそ汁の品質表示ガイドライン」最終決定**  
**元. 7. 7 広島大学原爆放射能医学研究所癌部門・伊藤明弘教授「みそが肝臓がん抑制」と発表**  
**元.10.25 (社)日本栄養士会と「みその機能評価に関する啓発普及事業」提携（5年間）のための覚書交換**  
**2.11.27 全国味噌団体創立50周年および全味工連創立30周年記念祝賀式典を鉄鋼会館で挙行**  
**3. 5.23 第31回全味工連通常総会において全国味噌工業厚生年金基金の設立承認**  
**3. 9.15 台風17.19号で甚大な被害。火災共済組合創業以来の共済金を支出**  
**3.11.27 味噌業体質改善委員会において「味噌業界が早急に取り組むべき課題」まとまる**  
**4. 3.12 全味工連青年部会設立総会**  
**4. 4. 1 全国味噌工業厚生年金基金加入事業所募集開始**  
**4. 5.30 味噌需要拡大拠出金承認**  
**4. 9.25 「みそ健康づくり委員会」（野口委員長）承認、10月1日より活動開始**  
**4.11.28 中国産大豆安定確保のため、福山会長を団長として「第一次全味大豆ミッショング」訪中**  
**5. 4 全国味噌工業厚生年金基金認可（厚生省）。**  
**5. 6 「第二次全味大豆ミッショング」藤森리를団長として訪中**  
**5. 9 平成5年産米の作柄が著しい不良（作況指数74）のため、政府は加工原料用として外米の緊急輸入を表明。**  
**5.10. 4 NHK朝のテレビ小説で、味噌を主題とした「かりん」放映開始**  
**6. 5.25 7代目会長に小山正邦氏就任**  
**7. 1.17 阪神・淡路大震災が発生し、味噌業界関係者も多数が罹災。被災者に義援金・援助物資を送る**  
**7. 4. 1 日付表示法（賞味期限）施行**  
**7. 4 アトランタオリンピック選手村メニューに味噌汁が選定される**  
**7. 7. 1 PL法施行。味噌業団体PL保険制度」発足**  
**7.10. 3 広島大学・伊藤明弘教授が日本癌学会総会において「みそに癌抑制効果」を発表**  
**7.11. 1 新食糧法施行。他用途利用米制度、平成7年度で廃止**  
**8. 7~8 腸管出血性大腸菌O-157、全国的に猛威を振るう。全味工連では味噌の安全性をPR**  
**8.10.28 中国大豆値決め方式が、プレミアム方式からフラット方式に中国側の意向で急遽変更**  
**8.10 日本癌学会で広島大学医学研究所が「味噌に大腸がん抑制効果あり」と発表**  
**9. 3 平成8年の味噌の生産と出荷が4年ぶりに対前年比増加に転ずる**

9. 3.22	「みそ科学フォーラム」が初会合し、味噌の研究に携わる学者が一堂に会する	制度施行 味噌業界ガイドライン作成
9. 5.20	8代目会長に武田兵助氏就任	原油価格高騰、記録更新 NY先物市場で初の75ドル台(4/21)
9. 5.28	「味噌業公正競争規約」を一般ルールに準じて改正・施行	全味工連役員改選 11代会長に山本弘樹氏就任
9. 9	味噌PRキャッチフレーズ「健康がいっぱい miso everyday」を策定	容器包装リサイクル法の一部改正案可決・成立（平成19年4月1日より施行）
9.11	第40回全国味噌鑑評会で出品味噌が史上最高の647点に	農林水産物等輸出倍増推進事業 味噌業界へ補助金交付決定
10. 2. 7	長野冬季オリンピックで味噌PRイベント実施	国産米不作 作況指数97
10. 7.23	PR事業特別賦課金、キロ50銭から40銭に減額	味噌輸出促進対策費 農水省補助金交付決定
10. 9	中国大豆値決め方式が、フラット方式からプレミアム方式に変更（115ドル）	全国味噌鑑評会 初の審査員養成会開催
11. 1.20	全味工連の在り方を検討する「企画委員会」を設置	味噌火災共済協同組合 解散
11. 3.25	平成11年度より賦課金単価変更。9月末をもって大口専賦課金廃止	農水省担当課 消費流通課から食品産業振興課に変更
11. 4.22	(社)中央味噌研究所の定款を大幅変更。理事数大幅削減と業界外理事誕生	全国味噌鑑評会50回記念式典開催
11. 5.26	通常総会において(社)中央味噌研究所の理事改選。好井氏、平氏を理事に選出	原料大豆問題で味噌・醤油・豆腐・納豆 4団体会長共同記者会見
11. 6.11	全味工連がHACCP手法支援法の「指定認定機関」の指定を受ける	家庭用味噌 18年ぶりに価格改定される
11. 8.10	遺伝子組換え食品表示、味噌は表示義務食品に指定される。業界としての対応を協議。	全国味噌火災共済解散、清算結了
11. 9.21	事業内容、賦課金など全味の改革を目指す企画委員会の答申提出され、その具体化を開始。	原料大豆高騰、シカゴ大豆最高値を更新。原油価格(WTI)も史上最高値を更新
12. 3.22	遺伝子組換え大豆の表示問題、業界としてのガイドラインを示す。	カナダ食品大豆視察ミッション、山本会長他参加
12. 5.24	9代目会長に藤森郁男氏就任	「事故米」不正流通事件発生、味噌業界は対象なし。その後、カビ発見多発で供給大混乱
12. 7	雪印乳業事件以降、食品・飲料への異物混入事件が多発。味噌業界として危機管理の徹底を図る	公益法人制度改革対応、(社)中央味噌研究所は「一般社団法人を目指す」との方針を承認
13. 1	味噌の容器包装識別表示ガイドライン決定	公益法人改革3法施行
13. 3	味噌に関する歴史・文化を網羅した『みそ文化誌』発行	「米開連3法（米粉・エサ米法、改正食糧法、米トレサ法）」が施行
13. 4. 1	JAS法施行。遺伝子組換え食品表示義務化	JAS法改正、業者間取引にも表示義務化
13. 5. 1	食品リサイクル法施行	全味工連役員改選 12代会長に下村釣爾氏就任
14. 2	ソルトレイク冬季オリンピックで味噌PRイベント実施	全国味噌技術会が解散
14. 2.28	全味新会館竣工	コーデックス総会 発酵大豆ペースト規格（アジア地域規格）承認
14. 5.21	全味新会館竣工記念式典	「消費者庁関連3法」が施行
15. 5.20	10代目会長に岩田雅明氏就任	「無添加味噌協議会」が解散。発足時の役割を終えて発展的解散
15. 5.27	「全国味噌工業厚生年金基金」の解散が厚生労働大臣より認可される	中央味噌研究所が初のテーマ公募。7件を助成
15. 6.18	1日みそ汁3杯以上飲めば乳がん発生抑制	第7期PR事業（2010～2012）継続承認。「選択と集中」方針
15. 7. 1	～厚生労働省研究班が米国立がん研究所雑誌に発表	「原料原産地表示」品目拡大、「期限表示」に関する検討について消費者庁に意見提出
15.10	改正農水省設置法・・・食糧庁廃止	食糧自給率向上に向けて、新「食料・農業・農村基本計画」決定
16. 2	原料米価格急騰 10年ぶりの不作 作況指数90	消費者基本法に基づく「消費者基本計画」策定
16. 4	原料大豆急騰 米国産大豆不作、輸入大豆が高騰	味噌PR制作物の見直し検討開始。薬事法・健康増進法等に対応
16. 5	量販店全国団体へ消費税総額表示への対応を要請	消費者庁「みそ品質表示基準」改正、22年度下期に実施を発表
16. 9	MA米見積り合わせ制度開始	国産加工米供給体制変わる。全農中心から、全集連扱い
16.10	味噌の表示に関する公正競争規約 公正取引委員会の認定を受ける	增加、(株)神明との取引開始
16.10	発酵大豆ペーストの国際規格化についてコーデックスアジア部会にて初審議	中味研が定款変更。総会承認で基本財産処分可能に
16.10	味噌製造損益分岐点調査を実施（損益分岐点比率92%）	21年度農水省補助事業「フランス向け味噌輸出促進事業」報告書まとまる
16.10	新潟県中越地震発生 中越組合員に甚大な被害	農水省、政府米販売等業務民間委託先を決定。住友商事、三菱商事、日通G
16.11	新潟県中越地震義援活動 各県組合会員が被災者へ「味噌」9トン、即席みそ汁57,000食提供	歴史的な猛暑等で、味噌出荷量大幅減少
17. 1	16年産国産大豆価格高騰	ロシア穀物禁輸開始。小麦、トウモロコシ相場上昇、大豆も上昇基調
17. 4	個人情報保護法施行 全味火災共済、(株)全国味噌会館にて関連規定整備	中味研22年度委託研究・研究助成、15件決定
17. 4. 1	「みそ健康づくり委員会」委員長交替 高梨委員長就任	MA米の民間委託開始。全味取りまとめで「長期契約」方式導入
17. 6	食育基本法成立食事バランスガイド公表される 副菜に具だくさんみそ汁を指定	味噌需要喚起に向けた総合調査に基づいた「戦略・事業計画」を承認
17. 8	アメリカ食品大豆・味噌市場調査団派遣(団長 小口副会長)	中味研、21年度研究助成報告会（業界向け）を開催
18. 4. 1	地域団体商標制度(商標法改正)施行 アルコール流通が自由化	全味工連創立50周年
18. 5.29	食品中に残留する農薬等の基準に係るポジティブリスト	創立50周年記念刊行物（全味弘報記念号、50年のあゆみDVD）制作